

第28回高齢者排泄ケア講習会は定員に達しましたので、申込受付を締め切らせていただきました。

会場内での混乱防止のため、当日会場での受付やキャンセル待ちは行ないません。何卒ご理解ご了承くださいませようお願い申し上げます。

次回の第29回高齢者排泄ケア講習会は平成23年11月18日（土）に予定しております。

今年度年間計画のページ

(<http://fukuokahaisetsu-net.org/keikaku/index.html>) をご参照くださいませ。

今後もさまざまなテーマで講習会を開催する予定です。講習会の際にご協力いただくアンケートをもとに、できるだけ受講していただく方のご意見を取り入れて、より魅力ある講習会を企画できればと考えております。

ご興味のあるテーマがございましたら、お早めにお申込みいただき、ぜひご参加ください。

心よりお待ちしております。

2011年6月30日

# 第28回高齢者排泄ケア講習会

日時：平成23年7月22日(金) 19:00～20:30

場所：福岡国際会議場 4階 中会議室 409・410

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1

参加費：1,000円

## 【申込方法】

■必要事項①所属施設名・住所（施設に所属してなければご自宅の住所で結構です）②氏名（ふりがな）③電話番号④「第28回講習会受講希望」と明記のうえ、ハガキもしくはFAXにて下記事務局までお申込ください。申込締切は平成23年7月13日(水)です(当日消印有効)。7月19日(火)までに先着100名様へ入場券を送付します。入場券がお手元に届かない場合はお申込みが受け付けられておりませんので、下記事務局までご連絡ください。

■入場券がない場合は受講できません。当日の申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

■当委員会ホームページ（<http://fukuokahaisetsu-net.org/>）でも申込を受け付けておりますので、ぜひご覧ください。

■締切日以降は、お電話にて直接お問合せください。締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

■お申込によりご提供いただく個人情報は、講座出欠および以外の目的で使用されることはありません。

## ・・・教育講演 プログラム・・・

### テーマ：排便障害におけるプライマリ・ケア

～ はじめに ～

排便障害についての治療・ケアは、対象者の大腸・直腸・肛門機能のほかに ADL や残存機能、認知度等を考慮し、長期的に継続できる排便コントロールをその本人と相談の上で決定をしていきます。さらに、高齢者については、ケア力（介護力）も見極めた上で、最良の排便コントロール法を検討していくことが、プライマリ・ケアに繋がります。

排便障害、つまり便秘も便失禁にも重要な治療・ケアの第一歩は、下部直腸の便をきれいに排出させることです。その具体的な排便ケアの技術として、「摘便」「浣腸」「洗腸(逆行性間欠的洗腸)」「排便姿勢の指導」等が挙げられます。これらの具体的な実施方法は各施設あるいは各医療者が自己流で行われているのが現状です。セルフケア能力の低い高齢者では、これらのケアを正しく行うことによって良好な排便コントロールが確立していきます。

また、今回、一般的に便失禁として誤って対処しやすい嵌入便についてもお話したいと思います。排便障害のプライマリ・ケアに向けて皆様とご一緒に勉強しましょう。

開会の挨拶：宮崎良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

司会・座長：荒木靖三 先生（大腸肛門病センターくるめ病院 院長）

#### 1. 排便障害についての基礎知識

座長：宮崎良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

講師：荒木靖三 先生（大腸肛門病センターくるめ病院 院長）

#### 2. 排便障害についての実際

座長：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

##### 1) 排便姿勢指導の実際

講師：村田奈理加 先生（大腸肛門病センターくるめ病院 理学療法士）

##### 2) 排便ケアの看護技術（逆行性間欠的洗腸・摘便・浣腸等）の実際

講師：種子田美穂子 先生

（大腸肛門病センターくるめ病院 地域医療センター看護師長）

開会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会・ファイザー株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会・福岡市医師会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL:092-282-5910 FAX:092-282-5812

